

第1号様式（第7条関係）

事業計画書

事業名	一店逸品運動	
事業主体	二本松商工会議所 一店逸品運動推進委員会 委員長 渡辺 豊	
事業の目的	<p>(本事業実施の目的を箇条書きに記入して下さい。)・商店街の活性化、賑わいづくり、子育て支援など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各参加店のこだわりと自信を持っている自慢の商品の研究、開発を図る。 ・業種を問わず個々の持っている優れた商品やサービスについて相互の研鑽や研究を重ねることで、意識改革、共同意識の醸成、個店とお客様の新しい信頼関係の形成や地域商業の活性化を図る。 ・ホームページ『逸品タウン』により、インターネットを利用した販売方法等、時代の流れと共に大きく変化してきたお客様の価値観や購買行動への効果的な対応を図る。 ・『逸品おひろめ会』を実施し各関係団体への先行報告を行うことで、より効果的な商品の説明方法や見せ方などを学び、店頭での接客に活かす。 	
【事業の内容】	事業開始年度： 2006 年度	全体事業費： 1,366,394 円
	<p>○実施内容：一店逸品運動における中心市街地及び各参加店の活性化 ○実施磁気：通年事業 ○実施場所：二本松商工会議所 ○対象者：一店逸品研究会参加店 ○実施方法：</p> <ol style="list-style-type: none"> ①専門講師による研究会（勉強会）の開催 ※年5～6回程度を予定 <ul style="list-style-type: none"> ○講師に太田巳津彦先生を招いての研究会を実施。グループワークやディスカッションを通して、魅力ある商品の研究・開発、地域や個店の更なる活性化を図る。 ②各種講習会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○内容は現時点では未定であるが、講習会等を通じて一店逸品運動+αの効果を狙う（レイアウト、POP等）。 ③逸品巡りツアーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ○お客様対象の逸品巡りツアーを実施予定。お店に足を運んでもらう事を目的とし、季節や訪問店毎にテーマを持たせる。 自動車（ジャンボタクシー）で案内するドライブコース、歩いて景色を楽しみながら案内するウォークコースの2コースを計画予定。 ④一店逸品フェアの開催 <ul style="list-style-type: none"> ○毎年恒例の、一店逸品フェアを実施予定。 一年間の研究の成果を市内外に発表する、一店逸品フェアを一つの最終目標として各種事業を展開。 ⑤『逸品おひろめ会』の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○各参加店のお客様や市内各団体を招いての『逸品おひろめ会』を昨年度に引き続いて実施する予定。逸品の先行報告と共に事業のPRなどを行う。 ⑥NPO 主催連絡会議に出席し、他地区との有益な情報交換等を行い、今後の事業運営へと活かす。今年度からは新たに『一店逸品東北ブロック会議』が開催されることが決まっており、積極的に東北の他団体との交流を行う。 	

	<p>⑦インターネットサイト『逸品タウン』の管理・運営 ○インターネットサイト『逸品タウン』の管理・運営を行い、更なるPRを図っていく予定。</p>
<p>【事業の効果】</p>	<p>(目的(目標)を達成するための方法(手法)と、それによって得られる効果を箇条書きに記入して下さい。) ・商店(会)の活性化 ・来街者の増加 など</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆一店逸品運動の活性化により、活力・魅力のある個店づくりを進める事が可能となる。単に売上を伸ばすだけではなく、以下の点についても効果が期待される。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 店内レイアウト力の向上(一店逸品のみではなく、その他の講習・研修も行い、様々な切り口から個店の活性化を促す)。 2) 参加者の意識改善(参加店同士の仲間意識、消費者側の目線や考え方) ◆一店逸品運動の更なる普及により、二本松市共通商品券の利用頻度増加が期待される。また、参加店を増やす事により、参加店同士での活発な意見交換や、多様な異業種交流が可能となる。 ◆一店逸品フェアを開催することにより、集客効果が期待される。 ◆『逸品おひろめ会』の実施は、各参加店の商品説明力の向上につながる。 「どう説明すれば、お客様に逸品(商品)の良さを上手く伝えることが出来るのか」ということについて各店が趣向を凝らすことにより、実際に店頭での接客に活かすことが出来る。 また、『逸品おひろめ会』に招待するお客様は、逸品にご理解頂いているお客様であるため、今まで以上に諸事業の周知を図ることが出来る。 ◆“いかにお店に来てもらうか”を研究する一店逸品本来の事業内容と、新しい時代に対応したオンラインによるPRを本事業の両輪とすることにより、様々なお客様への要望に応える事が出来る。 今や、インターネットは新聞以上に各家庭・各人が触れている現代必須の情報媒体である。 インターネットサイト『逸品タウン』の管理・運営を行うことで、広範囲に事業の周知を図ることが可能となる。

※書ききれない場合は、任意の様式で作成、追加してください。

第2号様式(第7条関係)

収支予算書

事業名	一店逸品運動
事業主体	二本松商工会議所 一店逸品運動推進委員会 委員長 渡辺 豊

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳	備 考
市 補 助 金	600,000	中心市街地活性化実践事業補助金	
参 加 金	480,000	@30,000円×16店	
雑 収 入	10,000	お店巡りツアー参加金等	
繰 入 金	276,394	二本松商工会議所	
合 計	1,366,394		

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳	備 考
報 償 費	408,574	①@51,429円×6回 ②@100,000円×1回	①研究会謝金 ②講習会等謝金
旅 費	162,820	講師交通費:@17,260円×7回 宿泊費:@7,000円×6回	東京⇄二本松
食 糧 費	50,000	講師食事代、会議お茶代	
印刷製本費	450,000	チラシ印刷・折込料、コピー代等	
使用料・賃貸料	10,000	お店巡りツアー車両代、会場使用料等	雑収入分対象外
通信運搬費	5,000	各種郵送料	
負 担 金	30,000	NPO法人一店逸品運動協会年会費	補助対象外
雑 費	250,000	連絡会議旅費、視察研修費用、イベント景品、振込手数料等	
合 計	1,366,394		